

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年5月1日

事業所名 Dotti house

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|----|--|-----------------------|-----------------------|--|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | <input type="radio"/> | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | <input type="radio"/> | | | |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | <input type="radio"/> | | | 物の配置を減らし、広々とした空間を提供できるよう工夫しています。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | <input type="radio"/> | | | |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | <input type="radio"/> | | | |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | <input type="radio"/> | | 保護者アンケートを配布しています。 | 保護者からいただいたご意見を管理者から職員へ伝えると同時に、業務改善に向け話し合い等を行っています。 |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | <input type="radio"/> | | 当法人のホームページにていつでも閲覧可能です。 | |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | <input type="radio"/> | | 今後は、第三者による外部評価を取り入れることを視野に入れています。 |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | <input type="radio"/> | | | 外部・内部研修へ参加をしています。 |
| 適切な支援の提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | <input type="radio"/> | | 必要に応じて支援内容の見直しを行っています。 | 日々の利用者の様子など保護者や関係機関と密に情報の伝達を行い、適切な支援計画を作成出来るように努めています。 |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | <input type="radio"/> | | | |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | <input type="radio"/> | | | |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | <input type="radio"/> | | 利用者の支援内容などいつでも閲覧出来るようにしています。 | |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | <input type="radio"/> | | プログラムが同じものにならないよう講師と相談しながら取り組みを行っています。 | 日々のイベント行事や集団レクに加え、音楽や造形教室など特化プログラムも取り入れる事で日々の活動に幅が出ないよう工夫しています。 |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | <input type="radio"/> | | | |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | <input type="radio"/> | | | 学習や個人課題を個人活動、イベントや集団遊びなどを集団活動として取り組んでいただいています。 |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---|---|----|-----------------------|--|--|
| | 17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | | ミーティング時などに、その日のトピックスについて職員へ伝達すると共に、情報の共有を行っています。 |
| | 18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | | 日々の支援の中で気づいたこと等、その場で解決、共有できるようにしています。 |
| | 19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | 経過報告を作成しています。 | |
| | 20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | | 必要に応じて支援内容の見直しを行っています。 |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | 21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | | 管理者とキーパーソンとなる職員が参加し、デイでの情報など詳しく伝えられるようにしています。 |
| | 22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | | |
| | 23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | | |
| | 24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | ○ | | | |
| | 25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | | 関係機関と積極的に連絡を取り合い、利用者の情報共有や統一した支援が行えるようにしています。 |
| | 26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | | |
| | 27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | | |
| | 28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | ○ | | お出かけする日を集団レクとして取り入れています。 | 施設内での交流はありませんが、地域の公園などへ出掛けた際に一緒に遊ぶなど交流する機会があります。 |
| | 29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | | ○ | | 今後は積極的に参加をしていきます。 |
| | 30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | 送迎時の引継ぎのみでなく、電話等でも利用者の情報に関してやり取りを行っています。 | 送迎時など利用者の情報を細かく聞き取り、支援方法に関して共通の理解を得るようにしています。 |
| 31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | ○ | | | | |
| 32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | 契約時など必要に応じて説明を行っています。 | | |
| 33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | | | | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|------------|---|----|-----|-------------------------------|--|
| 保護者への説明責任等 | 34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | | 保護者からの相談内容に瞬時に対応ができるよう心掛けています。 |
| | 35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | ○ | | 感染症対策などその時の状況に応じて開催しています。 | 父母会の代わりに保護者も参加できる施設合同遠足を行っています。 |
| | 36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | | |
| | 37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | Facebookにて月1回、デイでの様子を配信しています。 | |
| | 38 個人情報の取扱いに十分注意している | ○ | | | |
| | 39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | | |
| | 40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | ○ | | | |
| 非常時等の対応 | 41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | ○ | | | 避難訓練時や感染対策などのマニュアルを作成し、自宅に持ち帰っていただいています。 |
| | 42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | 3月と9月に避難訓練などを実施しています。 | |
| | 43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | ○ | | | 保護者・本人に説明を行った上で、支援時の注意点やアレルギーの有無などを記載した表を職員がすぐに確認しやすい場所へ掲示しています。 |
| | 44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | | | |
| | 45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | 事例を元に内部研修等を行い、情報の共有を行っています。 | |
| | 46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | | 外部・内部研修を行っています。 |
| | 47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | ○ | | | |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。